

カリキュラム区分		5カリ			シラバス区分		大学院		
科目区分	科目コード	履修時期		開講専攻	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位	
		学年	学期						
専門分野	M205	1年	前期	看護学	選択	看護教育学特論Ⅰ Advanced Study on Nursing EducationⅠ	30	2	
担当教員									
野本 百合子		北川 恵		徳永 なみじ					
関連するDPキーワード（看護学専攻）									
☐	① 看護に関する理論学習を通して経験を意味づける力を身につけている。								
☐	② 人々の健康に関連する諸現象を分析し構造化する力を身につけている。								
☐	③ 論理的に思考し他者にわかりやすく説明する力を身につけている。								
☐	④ 看護実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。								
	⑤ 看護実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法と態度を身につけている。								
	⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。								
関連するDPキーワード（医療技術科学専攻）									
	① 臨床検査学について自ら深く学習する力を身につけている。								
	② ヒトの体の仕組みや機能を科学的に説明する力を身につけている。								
	③ 健康・病気について論理的に思考し他者に分かりやすく説明する力を身につけている。								
	④ 臨床検査実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。								
	⑤ 臨床検査実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法・技術を身につけている。								
	⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。								
授業目的									
医療専門職者や看護学生に対する効果的な教育を展開し、その職業的発達を支援するために、教育の原点となる文献や看護教育学の特徴および教育の展開に関する文献を講読し、看護学教育の展開に必要な基本的知識や看護学教育の特徴を学習する。また、履修者自身が受けてきた看護基礎及び継続教育、あるいは現在実践している看護学教育について、学習した知識を用いて分析し、看護学教育の課題を言語化する。これらの課題の克服に向けて、医療専門職者や看護学生に対する教育のあり方を検討する。									
到達目標（授業目標）									
① 看護教育学、看護学教育、看護教育の定義とそれぞれの概念について説明できる。									
② 適正な教育を実践するにあたり、必要な知識、技術を列挙し、具体的に説明できる。									
③ 看護学教育の特徴を前提とする授業計画や評価のあり方を説明できる。									
④ 自身が受けた、あるいは自身が実践している看護学教育の現状を分析し、課題を特定できる。									
⑤ 学習した知識や技術を用いて、特定した看護学教育の課題を改善するための方法を考案できる。									
回	授業計画（項目・内容と方法・担当者）								
1回	ガイダンスー授業の進め方、履修方法の説明（野本百合子・北川 恵）								
2回	看護教育学の理論的背景の理解〔講義〕－「看護教育学」とは何か・看護専門職教育のあり方（野本百合子）								
3回	教育原理の理解①〔発表・討議〕－【文献講読】『教育の過程』：第1章・第2章（野本百合子・北川 恵）								
4回	教育原理の理解②〔発表・討議〕－【同 上】『教育の過程』：第3章・第4章（野本百合子・北川 恵）								
5回	教育原理の理解③〔発表・討議〕－【同 上】『教育の過程』：第5章・第6章（野本百合子・北川 恵）								
6回	看護教育学の理解①〔発表・討議〕－【同 上】『看護教育学』：第1章・第2章（野本百合子・北川 恵）								

7回	看護教育学の理解②（発表・討議）－【同上】『看護教育学』：第3章・第4章（野本百合子・北川 恵）									
8回	看護教育学の理解③（発表・討議）－【同上】『看護教育学』：第5章・第6章（野本百合子・北川 恵）									
9回	看護教育学の理解④（発表・討議）－【同上】『看護教育学』：第7章・文献講読のまとめ（野本百合子・北川 恵）									
10回	効果的な看護学教育の展開〔講義〕－教育実践への看護教育学の知識の活用（野本百合子）									
11回	看護学教育の現状分析と効果的な教育①〔発表・討議〕－学習内容に基づく実践の振り返りと評価（野本百合子・北川 恵）									
12回	看護学教育の現状分析と効果的な教育②〔発表・討議〕－教育の現状改善のための検討・提案（野本百合子・北川 恵）									
13回	看護技術教育とその評価方法〔講義〕（北川 恵・野本百合子）									
14回	e-Learningと教材開発〔講義〕（徳永なみじ・野本百合子・北川 恵）									
15回	看護教育学の知識に基づく教育実践のまとめ〔講義・討議〕－効果的な教育の展開に向けて（野本百合子・北川 恵）									
16回										
17回										
18回										
19回										
20回										
21回										
22回										
23回										
24回										
25回										
26回										
27回										
28回										
29回										
30回										
成績評価方法及び基準										
発表課題レポート（60％）、プレゼンテーション・質疑への応答（40％）で評価する。トータル60点以上を合格とする。										
教科書		・J. Bruner著, 鈴木 祥蔵他訳：教育の過程、岩波オンデマンドブックス ・杉森みど里・舟島なをみ：看護教育学（第7版）、医学書院								
参考図書等		・梶田叡一：教育評価 第2版補訂2版、有斐閣双書 ・西岡加名恵, 石井英真, 田中耕治：新しい教育評価入門〔増補版〕：人を育てる評価のために、有斐閣コンパクト ・糸賀暢子, 元田貴子, 西岡加名恵：看護教育のためのパフォーマンス評価: ループリック作成からカリキュラム設計へ、医学書院 ・Donald A. Schon著, 佐藤学他訳：専門家の知恵－反省的実践家は行為しながら考える、ゆみる出版								
授業時間外の学習について（授業準備のための指示）										
文献講読については、受講生間で相談して担当部分を決定の上、担当箇所の内容をまとめて事前レポートを提出し、授業時にプレゼンテーション・質疑への応答を実施する。そのため、事前に指定文献の担当箇所を精読してレポートを作成、提出するための時間を要する。また、必要に応じて、担当箇所の内容を理解するための追加文献を確認し、精読する必要がある。										
関連科目										
前科目	M103	生涯教育学特論								
後科目	M206	看護教育学特論Ⅱ	M208	看護教育学・技術学	M227	特別研究Ⅰ	M228	特別研究Ⅱ		
実務家教員										
看護師（医療機関）	野本 百合子		北川 恵		徳永 なみじ					

備考	※基盤看護分野を専攻とする学生には、必修科目。 関連科目「特別研究Ⅰ」、「特別研究Ⅱ」は、主に基盤看護分野を専攻する学生を対象とする。 ※当該科目は、「教育に関する科目」に該当するため「看護教育学特論Ⅱ」と合わせて履修することにより、看護専門学校の教員資格を取得可能
----	--